

秋田県内絵馬調査報告

高橋 正*

1 はじめに

昭和52年に当館では美術部門展「秋田の絵馬」が開催された。このときの展示の主眼は当館研究報告第3号の中で太田和夫氏が「美術史上、とりわけ地方絵画史の資料となる絵馬に主眼をおいた。」⁽¹⁾と述べられるとおり、画人の絵馬に注目するなど絵画史に重点をおいたものであった。太田氏の報告は、県内の絵馬についての調査がほとんどなされていなかった状況の中で、14町村56箇所の調査に基づき280点を超える絵馬について報告したことにも大きな意義があり、調査データの中には人々の信仰心を強く反映した絵馬も数多く含まれていたことが注目される。

またこの報告がなされた前年には木崎和廣氏によって当館研究報告第2号に県内の37点の船絵馬についての調査内容が報告されている。⁽²⁾この当時刊行されていた自治体史誌では、「船絵馬」についてほとんど注目されていなかったことから、この報告が県内における船絵馬研究の嚆矢となったといっても過言ではない。

小稿における絵馬の調査も、この2編の報告を出発点にしているが、近年の研究史をみると県内の各市町村で絵馬の調査・研究・保存の動きが出てきたことが20年前とは異なる状況で、その成果をふまえる必要がある。一例をあげると、『比内町の絵馬』⁽³⁾『郷土の絵馬—中仙町郷土の絵馬写真集—』⁽⁴⁾『絵馬と奉納額—二ツ井町の文化財14—』⁽⁵⁾『協和町の絵馬』⁽⁶⁾『天王町の文化財—第5集絵馬・扁額特集—』⁽⁷⁾『本荘市の神仏像』⁽⁸⁾『岩城町の神社と絵馬』⁽⁹⁾『図録角館の絵馬 I』⁽¹⁰⁾などの報告書が刊行された。また大内町歴史民俗資料館や協和町の大盛館など市町村の資料館で絵馬の企画展が開催されるようになり、一般の人々が絵馬を目にする機会が多くなった。さらには昭和52年段階では6件に過ぎなかった市町村の登録文化財になっている絵馬が、平成12年12

月現在では17件に及んでいる。これらのことは、ここ数年の間に絵馬に対する関心が高まってきたことを示すものといえよう。自治体史誌においても、『象潟町史史料編 I』⁽¹¹⁾で「船絵馬」という項目が編され、町内の船絵馬についての悉皆調査の結果が掲載されるなど、絵馬を貴重な文化財として報ずる傾向がより強くなったことを指摘できる。

また、こうした動向とは別の視点から個別の神社についての絵馬調査も近年報告された。嶋田忠一氏の「秋田市道川神社（旧愛染堂）の絵馬」⁽¹²⁾では道川神社（旧愛染堂）の歴史の変遷およびその信仰のあり方を踏まえた上で、煙草断ち絵馬を「愛染明王の、愛欲を断ちきる本願に由来するもので、人の断ちたいと思う心をふん怒形となって助ける意義と合致する」と述べている。嶋田氏の指摘するように、神社などの奉納される場においてそこにいかなる人々の信仰が介在したのかを、その神社に伝わる縁起や由来あるいは祭神や本尊などから分析していく視点は、秋田県における絵馬研究では従来あまり注目されなかったのではなからうか。小稿ではこれらの調査・研究の成果を踏まえた上で、県内の絵馬についての調査した基礎データを提示するとともに、調査に際して注目された絵馬について二、三の問題点を提示したい。

2 奉納年から見た絵馬

絵馬の研究において、奉納年に着目することにはどのような意味があるのだろうか。小稿では絵馬の全国における研究史の中で秋田県の絵馬の実態を相対化するとき、秋田県の絵馬奉納の実態にいかなる特徴があるのかを分析していくひとつの視点として、絵馬の奉納年を問題にする必要性があるものと考えたい。

太田氏の前掲論文の中で、秋田県内最古の絵馬は能代釣潟神社に奉懸されている元亀3(1572)年の

*秋田県立博物館

「裸馬遊泳図」であると報告されている。管見の限りでは、現在でもこの絵馬よりも奉納年の古い絵馬は確認されていない。この絵馬については菅江真澄の『かすむ月星』⁽¹³⁾の中に「城介実季いまだをさなうおはしけるとき、おもき病にふしたまふを、父愛季つねにいのる観世音にふかき願ひをして、日あらずやまふかろやかに、しぬべういのちをとゞめけるとなん」という記述があり、実季の病氣平癒を愛季が祈願して奉納したものではないかとする伝承に関わる資料と考えられた。

能代市鶴形にある釣瀧神社は、仁寿年中慈覚大師が、奥羽地方巡下のみぎり八重堀の頂きにあたり天啓を得て草堂を結んだのに始まるといわれ、明治時代以前は円通山宏大師と呼ばれ修験の場であった。菅江真澄の『かすむ月星』では愛季が祈願した観世音について「円通山の額は月舟和尚のかけり。広大師と額あれど、すすけたれば誰が書るとはしらじ。」と説明されており、現在の釣瀧神社のことを指すと考えられる。実際に、釣瀧神社では宝物として、月舟筆の「円通山」の扁額が保存されている。

また、秋田家系図や安倍姓下國氏系譜によれば、実季は万治2年に84才で没したといわれており、父愛季が絵馬を奉納したといわれる元龜3年は、**実季はまだ誕生していない。実季の兄で天正10年に16歳の若さで早逝した業季は、没年から逆算すると永禄10年の生まれとなり、元龜3年には6歳である。愛季が実季幼少時に、息子の病氣平癒を祈願して奉納したとする伝承は、「実季」を「業季」と読みかえると、釣瀧神社の絵馬と年代がほぼ一致するが、この点は他の資料からの傍証が必要である。また同時に、こうした伝承が生じた時代背景を分析する必要があると考える。**

絵馬の墨書の中は右側に「奉懸 馬形二匹」、左側に「于時元龜三年壬申八月鬼宿信心旦那」とある。「鬼宿」はインドの星占いから起こった言葉で鬼宿日とも呼ばれている。嫁取りの他は万事に大吉とされている。また「信心旦那」という記載は奉納者と関わりが深いものと考えられるが、ここでは愛季が絵馬の奉納と同年に、能代市母体八幡神社本社を再建していて、その棟札に「本願大旦那安倍愛季」と記していることが注目される。中世社会における「旦那」という用語がの解釈に

も関わるので、この記載だけから愛季奉納を論ずることは慎重にしなければならないが、絵馬の墨書からも愛季奉納を示唆する資料と考える。

この絵馬についてこれ以上の解釈は同時代の文書から確認することは難しいので、周辺資料による裏付けが必要であろう。「能代市史 資料編古代・中世1」⁽¹⁴⁾ではこの絵馬に関わる周辺の資料として『秋田風土記』と『寺内観音開帳略縁起』をあげている。こうした資料の発掘と分析が今後の課題となるだろう。

太田氏の報告ではこれに次ぐ奉納年の古い絵馬として能代市上母体八幡神社の「黒鷹」「白鷹」(貞享2年)の2面、元禄期のものとして鹿角市芦名神社の「神馬図」(元禄8年)と大内町新沢八幡神社の「松に鷹」の2面をあげている。今回の調査では1600年代の紀年銘を持つ絵馬としては能代市上母体八幡神社の「鷹図」(貞享3年)のもの1点を追加するのみである。しかしながら『本荘市の神仏像』の中には本荘市薬師堂の医薬神社の「浦島太郎図」(元禄2年)を始めとして元禄年間に奉納された絵馬10点が紹介されている(表1参照)。このことは、本荘市における調査成果の大きさの一端を示すものであるが、それと同時に悉皆調査の重要性を物語るものとも考える。

表1にあげた絵馬の特徴としては、奉納者が庶民ではなく武士階級(本荘市の絵馬はそのほとんどが藩主奉納のものである)によって奉納されていることである。画題も馬以外のものが多い。東北地方の絵馬を概観すると、山形県米沢市の成島八幡神社の漆蒔絵神馬図(天文22年)や岩手県中尊寺の漆蒔絵神馬図(永禄7年)という奉納年の古い絵馬が報告されているが、秋田の絵馬はこれらほど古い紀年銘を持つものはない。けれども、釣瀧神社の「裸馬遊泳図」は先述したとおり安東愛季の文書資料には見えない子供を思う心情を垣間見える資料であるし、また他の藩主や武士が奉納したといわれる絵馬も、家の繁栄や武運長久を願う資料と見ることができる。

また画題の中に鷹を描いたものが数点あることにも注目したい。元来鷹は、上級武士の贈答品として好まれており、東北地方は優れた鷹の産地であったことから、武将が絵馬の画題として鷹を好むことはうなずける。能代市の母体八幡神社に

奉納される3面の貞享年間の鷹図もこうした視点から考えるべきであろう。(15) また、本荘市松ヶ崎八幡神社の献上鷹図(図版7)は、亀田藩主から

将軍へ献上する鷹の輸送安全祈願絵馬といわれ、武士階級にとって鷹がいかに重要な画題であったのかを伺う資料となる。(16)

表-1

1	資料名	市町村	所有者	法量	奉納年月日	西暦	奉納者	絵師
2	神馬	能代市	釣潟神社	73.5*39.5	元龜3年8月鬼宿	1572	安東愛季	伝安東愛季
3	白鷹	能代市	八幡神社	57.0*95.0	貞享2年月吉日	1685	多賀谷左兵衛尉平隆経	
4	鷹	能代市	八幡神社	57.0*97.0	貞享2年5月日	1685	多賀谷左兵衛尉平隆経	
5	黒鷹	能代市	八幡神社	95.0*65.0	貞享3年正月吉日	1686	菅原及右衛門安周	
6	浦島太郎図	本荘市	医薬神社	47.0*66.0	元禄2年2月	1689	政晴	裏「峯やくし」
7	羅漢図	本荘市	医薬神社	47.0*66.0	元禄5年正月	1692	政晴	裏「峯業師」
8	切腹	本荘市	大学院	54.0*69.7	元禄5年	1692	4代正晴	
9	高砂図	本荘市	医薬神社	48.5*65.5	元禄6年	1693	政晴	裏「峯業師」
10	飾馬	本荘市	大学院	51.5*66.5	元禄6年	1693	4代正晴か	
11	神馬	鹿角市	葦名神社	83.5*98.0	元禄乙亥(8)年9月19日	1697	長澤新之丞	
12	松に鷹図	大内町	八幡神社	93.0*125.0	元禄9年8月吉祥日	1696		
13	番鳩図	本荘市	八幡神社	45.0*29.3	元禄9年三月吉日	1696	政晴	
14	鷹図	本荘市	八幡神社	37.5*27.0	元禄11年三月吉日	1698	政晴	
15	曳馬	本荘市	八幡神社	96.5*93.0	元禄12年	1699	藩主奉納か	
16	鶏図	本荘市	神明社	26.8*89.0	元禄13年	1700		
17	曳馬	本荘市	日吉神社	53.5*69.5	元禄13年	1700	政晴	
18	鶴の図	岩城町	神明社	78.0*110.0	宝永5年	1708	岩城秀隆	
19	飾馬	本荘市	日住白山神社	44.0*69.0	享保5年	1720	藤原政晴	
20	礼拝図	比内町	大日神社	115.0*168.0	享保年寅5月日	1734	施主敬白	

3 生業に関わる絵馬

秋田県内における生業にかかわる絵馬についての報告としては、農耕図に着目した渡部景俊氏の研究がある(17)。渡部氏は秋田県内の10点の農耕図を紹介しているが、この中で絵馬の形態をとって社寺へ奉納しているものは、協和町中村神社の農耕絵馬、増田町教育委員会所蔵の耕作成就の額、湯沢市東鳥海神社の農耕絵馬の3点が報告されている。今回の調査の中で、従来報告されなかった作業絵馬を数点確認することができた。

まず農耕関係の絵馬については渡部氏の報告された3点のほかにもう3点の資料について報告する。1点目は大内町小栗山神明社の絵馬である(図版12)。裏面の墨銘から明治34年に農事改良を祈願して奉納されたことがわかり、裏面の墨銘や落款から絵師は牧野雪僊と推定される。

2点目は中仙町小沼神社の皁月の図である。この絵馬は裏面の墨書から享保19年に奉納されたことがわかる。右端に田植えの様子が繊細に描かれているが、中央から左側にかけては退色のため内容が確認できない。

3点目は中仙町八日市諏訪神社の農村四季図である。この絵馬は昭和51年に奉納された新しいものである。四季それぞれの女性の作業の様子が描かれている。絵師は鈴木操である。

次に漁業関係の絵馬について報告する。木崎氏

の前掲論文の中で報告されていた大漁祈願絵馬に、若干のデータを追加した。詳細については表3の一覧を参照していただきたい。また『天王町の文化財第5集』の中に八郎潟で行われていた氷下曳き網漁の様子を描いて奉納した絵馬が報告されているが(図版5)、この絵馬は干拓以前の八郎潟における漁業の様子を伝える資料として貴重なものと考えられる。

林業関係の絵馬や酒造業に関する絵馬については今回の調査では確認できなかった。さらなる調査が必要な分野であろう。

今回の調査で興味深かったのは、養蚕に関わる絵馬と、鍛冶屋に関わる絵馬である。前者は秋田市飯島の飯田神明社の奉納されているもので、養蚕に関わる工程が11カットで描かれている(図版6)。残念ながら奉納者および奉納年についての墨銘はないが、地元の伝承によれば奉納した人物は、江戸時代この地の肝煎を勤めた保坂家の子孫である保坂善太郎氏といわれる。保坂善太郎氏は過去帳に「偉功桑園居士」の法名を記され、この地における養蚕の基礎を築いた人物といわれている。この人物が奉納したとの口伝は信憑性が高い。また奉納年についてはこの善太郎氏が死去した年が明治18年であることが同じ過去帳から判明しており、善太郎氏が奉納したとする口伝を尊重する立場に立てば、奉納年は明治18年以前である。また絵馬

の中に登場する人物の髪型に着目すると、男性の髪型が、チョンマゲとザンギリ頭とが混在していることがわかる。明治4年政府が散髪脱刀令を出してザンギリ頭は許可されることになるので、絵馬が奉納された時期も明治4年から18年の間に限定して考えることができる。なおこの絵馬は絵の具の剥落や傷みなどは少ないものの、後代に筆でいたずら書きをした痕跡が数カ所残っているのが惜まれる。

また、養蚕の工程を示すものではないが、協和町下荒川の白山神社には七福神が養蚕をしている絵馬が奉納されている。毘沙門天が桑切包丁をふるい、大黒天がお金を数えるなど、それぞれの役割が描かれている。

鍛冶屋の絵馬については昨年の鍛冶屋調査の中で確認されたものであり、拙稿「金神様の信仰について」(18)において写真を紹介した。絵馬の画題は中世の刀鍛冶宗近の逸話に因むものであり、直接的に鍛冶屋の作業工程を伝えるものではない。しかしながらこうした絵柄が奉納され、人々の祈りを形にするものであったことに、絵馬を奉納することの裾野が広がったことを語り得る資料の一つになると思う。

4 絵馬と奉納の場について

太田氏は前掲論文の中で絵馬研究に対して「美術的な見方、民俗学の見方、歴史的な見方と広い視野で調査していく必要があること」を述べている。嶋田氏の前掲論文もこの立場を「きわめて妥当」と評価している。小稿における考察も広い視野から絵馬をとらえて、様々な角度から分析する必要があると考える。かつて五城目町高性寺の大根絵馬について報告した拙稿(19)に対して、嶋田氏は「つまり高性寺が檀家や周辺の人々とどう関わってきたのか、社会はどういう状況であったのかという問いでもある。」と述べられ(20)、「図柄を中心として庶民の祈願や信仰の諸相を探ろうとしてきた」従来の絵馬研究に対して、その絵馬が奉納された周辺の社会に対して歴史的にあるいは民俗学的に分析する必要性を説いている。この節では、こうした観点に立って絵馬とそれが奉納された社会の周辺について葦名神社の事例を紹介したい。

鹿角市十和田山根にある葦名神社はかつて芦名沢の観音様として馬産の神様、馬の守護神として信仰を集めてきた。葦名神社にはこうした信仰にふさわしく多くの馬を描いた絵馬が奉納されている。この神社の絵馬は、現在鹿角市の文化財として133点が指定されている。

葦名神社は貞観3年8月創建し、その御神体は慈覚大師が岩窟で刻ん安置し法華山芦名寺と名付け「みちのくをかきわけゆけば芦名寺の栄うために法の華山」という詠歌をのこしたとされる伝承を持つ。(21)

またこの神社には自分たちの身代わりとなって生き埋めとなった2頭の馬にまつわる孫七長者の息子と市兵衛館の姫との伝説が残っている。(22) こうした伝承・伝説が秋田県内だけでなく岩手や青森などの馬産地からも人々が馬を連れて参拝にくる要因になったものと考えられる。葦名神社に奉納される馬の絵馬には、馬産地であるという生業上の理由に加えて地元の伝説が背景があるものと考えられる。

葦名神社の絵馬の中で馬を描いた絵馬について、馬の毛色・頭数・形態(草を食べる、歩く、駆ける、繋ぐ等馬の描かれる様子)、奉納者の住所・奉納年等に注目してまとめたのが表2である。この63点の他にも確認可能なものがあつたが、今回の調査では奉納されている絵馬を動かさない状態で調査したため、重なりあつたもので表に入れることのできないものも何点かあつた。したがって葦名神社の絵馬の全容を示すものではなくその傾向を確認するためのデータであることを付記する。

また表中の1~15は神社の拝殿内に奉納していたものであり、16~63は絵馬堂に奉納されたものである。両者の絵馬を比較すると、拝殿内の絵馬は江戸時代から明治期にかけての大絵馬であるのに対して、絵馬堂のものはそのほとんどが小絵馬であり、奉納年も大正から昭和のものに限定されている。

表-2

番号	毛色	頭数	形態	奉納者住所	奉納年	奉納者	備考
1	黒	2	草喰	風張村	明治5年壬申5月吉日	孫太	大
2	朱	1	歩行	十二所字別所	明治27年甲午4月17日	佐藤庄兵衛	大
3	朱	1	歩行	上芦名沢村	嘉永6年4月17日	若者中	大
4	朱	1	草喰	不明	不明	不明	大
5	黒	1	歩行	北秋田郡山瀬村字上岩瀬村	明治33年旧5月30日	古家春松	大
6	混在	33	歩行	芦名沢村	安政4年巳/新禮良日	孫太郎	大
7	黒	1	駆け	不明	嘉永2歳丑月17日	沢田善間	大
8	栗		繫ぎ(駆)	古川邑	不明	興作	大
9	黒	1	繫ぎ(草)	瀬田石村	明治19年5月17日	斉藤喜助、斉藤喜之助	大
10	白黒	3	駆け	沼館村	不明	佐々木彦太郎	大
11	黒	1	歩行	不明	元禄8年9月19日	長澤新之丞	大
12	朱	1	繫ぎ	秋田郡南比内中野村	不明	加賀屋新八	大
13	朱	1	繫ぎ	不明	不明		大
14	黒	1	歩行	秋田北沢内村	慶応3年	猪又三太郎	大
15	黒	1	歩行	青森県二戸郡荒澤村星沢	明治30年旧5月吉日	立花彌惣治、富士原豊松	大
16	朱	2	歩行	北秋田郡沢口村字中屋布	不明	近藤□蔵	小
17	朱	2	歩行(親子)	上芦名沢村	不明	成田貫一	小
18	朱栗	5	歩行(親子)	不明	不明	不明	小
19	朱	2	歩行(親子)	不明	不明	畠山萬五郎	小
20		1	牽き	毛馬内町甚兵衛川原	昭和15年10月15日	田原仁太郎	写真
21	朱	2	歩行(親子)	大湯□	昭和10年5月17日	湯瀬□	小
22	朱黒	3	歩行(親子)	長木村字小杉内	昭和17年旧4月17日	高橋長五郎	小
23	朱黒	3	歩行(親子)	当村願主	昭和25年旧5月5日	成田政吉	小
24	朱	2	歩行(親子)	北秋田郡沢口村中屋布	旧7月10日	近藤永造	小
25	朱	1	歩行	熊坂	不明	成田寛吉	小
26	栗朱	3	歩行(親子)	鹿角郡宮川村水沢	大正9年旧5月5日	栗木長五郎	小
27	朱	2	歩行(親子)	当村	不明	成田元蔵	小
28	朱	1	歩行	沢口中屋式	不明	千葉啓太郎	小
29	朱黒	2	歩行(親子)	当村	□年5月5日	成田モト	小
30	朱白	3	歩行(親子)	北秋田郡上川湯	不明	佐々木与吉	小
31	朱	3	歩行(親子)	北秋田郡矢立村	不明	若狭勇蔵	小
32	朱	2	歩行(親子)	七滝村牛馬長根	不明	不明	小
33	朱	2	歩行(親子)	不明	昭和17年旧4月17日	工藤修治	小
34	朱	2	歩行(親子)	北秋田郡花岡村	昭和17年旧4月17日	成田与五作	小
35	朱黑白	7	歩行(親子)	宮川村字蛇沢	旧4月17日	阿部喜代松	小
36	黒	1	歩行	北秋田郡花岡村	昭和17年旧4月17日	成田興□	小
37	朱	2	歩行(親子)	長木村石測	昭和17年旧4月17日	石田成吉	小
38	朱	2	歩行(親子)	不明	昭和17年旧4月17日	□□岩吉	小
39	朱	2	歩行(親子)	矢立村粕田	不明	佐藤□兵工	小
40	朱	2	歩行(親子)	長木村上代野	昭和17年旧4月17日	□部定吉	小
41	朱	2	歩行(親子)	不明	昭和17年旧9月11日	成田梯治	小
42	朱	1	歩行(鞍)	北秋田郡芦名村	昭和□年4月	石ノ谷丈之助	小
43	栗朱	2	歩行(親子)	花岡町堤田	昭和17年旧4月17日	大森中一郎	小
44	朱	2	歩行(親子)	不明	昭和17年	不明	小
45	朱	1	歩行	毛馬内町	大正15年4月17日	伊藤啓三	大
46	朱	3	歩行(親子)	北秋田郡大谷	不明	阿部朝吉	小
47	黒	2	歩行(親子)	花岡町堤田	不明	佐藤松三郎	小
48	朱	1	歩行	大湯村大楽前	不明	橋野与八郎	小
49	朱	2	歩行(親子)	北秋田郡沢口村字神屋敷	不明	不明	小
50	朱	3	歩行(親子・鞍)	北秋田郡	不明	斎藤専	小
51	朱	2	歩行(親子)	北秋田郡東館村味噌内	昭和17年4月17日	佐藤多吉	小
52	朱	5	歩行(親子・鞍)	不明	昭和19年旧4月17日	成田耕治	小
53	朱栗白黒	5	歩行(親子・鞍)	不明	不明	不明	大
54	朱	2	歩行(親子)	北秋田郡東館村	昭和17年5月31日	佐藤幸三郎	小
55	黒	1	歩行				小
56	白	1	草喰(鞍)	北秋田郡山瀬村山田	不明	岩沢由□	大
57	朱	1	歩行	熊坂	大正15年旧4月17日	成田□松	石
58	朱	2	歩行(親子)	大湯町白沢	不明	木村小助	小
59	朱	2	歩行(親子)	不明	昭和17年旧4月17日	不明	小
60	混在	33	歩行	不明	不明	不明	大
61	朱	2	歩行(親子)	不明	不明	美山喜之	小
62	黒	2	歩行(親子)	不明	不明	不明	小
63	朱	2	歩行(親子)	長木村黒沢	不明	伊藤直吉	小

※備考の「大」は50cm×50cmをこえるもの、「小」はそれ以下のもの、「石」は石に彫ったものを指す。

最初に馬の頭数・形態について記すと、朱色の親子馬（他色の馬の中に朱の馬をが描かれたものを含む）が35面あることに注目したい。絵馬堂の小絵馬に限定すると8割以上がこの形態である。またこれら親子馬はすべてが歩行姿勢のもので、繋ぎ馬や草喰馬がないことも特徴的である。一般的には親子馬の絵柄は仔馬の成長と無事息災を祈願したものといわれるが、参拝者に仔馬が生まれ子孫の繁栄を願う意味合いもあったものと考えられる。

奉納年については昭和10年代のものが多く、とりわけ旧4月17日のものが多い。これは神社の例祭日にあたり（現在は新暦の6月17日）例祭にあわせて絵馬を奉納した人が多かったためと考えられる。この例祭にはかつては絵馬売りや出店、ソバ屋が店開きして繁昌したものだといわれる。また遠方から参拝した人のために馬宿や馬喰宿が並んだといわれる。⁽²³⁾ 昭和17年のものがとりわけ多い理由については、地元の方の話では、ここはかつて軍馬供給の地であったため、戦時に参拝する人が多かったのではないかとのことであった。実際に葦名神社の脇には、軍馬供給の地に関わる慰霊碑がたてられており、この地の役割の大きさを物語っている。また、鹿角市史第3巻によれば、この年は鹿角に農林省馬政局の直轄する大湯国営牧野が設置されることが決まり、その整理工事に着手した年である。⁽²⁴⁾ こうした行政上の動向とこの年に奉納された絵馬が多いことと関係があったのか否か、こうした行政政策との関わりの追求も今後の課題である。ただし、個人的に推測するには昭和17年は第二次世界大戦の戦況厳しい状況が続き、前年11月からは国民勤労報国協力令が公布されるなど徴用人員が増加していった時期でもある。こうした状況の中で親子で仲睦まじく歩く馬の姿に平和な社会を祈願したとは考えられないだろうか。もちろんこの前後にも戦況厳しい状況は依然としてあったわけであり、昭和17年を特定する根拠としては甚だ脆弱な根拠であり推測の域を出ないが、戦時下の状況で人々は絵馬をどのような思いで奉納したのかという視点から絵馬について考える必要があると考える。

次に奉納者の住所については、そのほとんどが北秋田郡内であったが、中には沼館村（現雄物川町）など遠方からの奉納もある。むしろ、ここでは地元芦名沢村のものが7点に留まっていて、北秋田郡内広域から奉納されていたことを指摘すべきであろう。ただし、先述したとおり今回調査した絵馬は葦名神

社の絵馬の全容ではないので、あくまでも傾向を指摘するにとどめるが、地元の方の話では青森・岩手からも多くの参拝者があったといわれ、現在でも例祭の時には岩手県から参拝に来る団体があるそうである。同社には、岩手県二戸郡荒沢村の漆絵馬が奉納されているが、これらなどは、広域からの参拝があったことを物語る資料と考えるべきであろう。

5 おわりに

今年度後半に調査した絵馬について、概括的な報告と、鹿角市葦名神社の馬の絵馬についての概要報告を行ったが、多くの絵馬を見ていくと絵馬の数だけ人々の信仰がそこにあることに改めて気づかされる。調査当初は絵の美しさや珍しさ、あるいは著名な絵師の落款に興味を持ったが、むしろ現在では素朴な絵馬の背景にある人々のいのりの形を周辺資料から追うことにこそ絵馬研究の意義があるように思える。もちろん著名な絵師が描いた大絵馬に見られる美術的な価値を追究することも絵馬研究の課題のひとつと考えるが、自分はむしろその多種多様な画題から、奉納者の教養や社会の流行がどのように反映されているかを考える材料として大絵馬を考えていきたい。

今回の調査では太田氏や木崎氏の先行研究で紹介された絵馬の所在の一部を確認することに始まり、市町村の報告等の成果をある程度ふまえた上で、未調査の地域を調査することとなった。表4に調査の概要をまとめたが、すでに調査報告のあったものは紙面の構成上割愛した。

今回調査をしたデータに、既に報告のあるデータを付加すれば1500点を越えるデータがまとまることになるが、それでもまだ県内の全体像を把握するには至っていない。今後もこうしたデータの蓄積がさらなる課題となる。

（註）

- (1) 太田和夫「秋田の絵馬について」『秋田県立博物館研究報告』第3号25頁、昭和53年
- (2) 木崎和広「秋田県の船絵馬について」『秋田県立博物館研究報告』第2号昭和52年
- (3) 比内町『比内の絵馬—比内町文化財目録第7号—』昭和63年
- (4) 中仙町『郷土の絵馬—中仙町郷土の絵馬写真集—』平成2年
- (5) ニツ井町教育委員会『絵馬と奉納額—ニツ井町の文化財No14—』平成6年
- (6) 協和町青少年ふるさと学習特別推進事業実行委員会『写真集協和町の絵馬』平成6年
- (7) 天王町教育委員会『天王町の文化財—第5集絵馬—』

扁額特集』平成10年

- (8) 本荘市史編纂委員会『本荘の神仏像』平成10年
 (9) 岩城町教育委員会『岩城の寺社と絵馬』平成11年
 (10) 角館町文化財保護協会『図録角館町の絵馬Ⅰ』平成12年
 (11) 象潟町『象潟町史資料編Ⅰ』898～906頁
 (12) 嶋田忠一「秋田市道川神社(旧愛染堂)の絵馬」『秋田県立博物館研究報告』第24号 平成11年 43頁
 (13) 内田武志『菅江真澄全集』第4巻未来社76頁昭和48年
 (14) 能代市史編纂委員会『能代市史資料編古代中世Ⅰ』平成10年815頁
 (15) 母体八幡神社は、天正2年の母体八幡神社由緒によれば、安東愛季が御神祭料菜地等を寄附するとともに、元亀3年の本社再建の棟札に「本願大旦那安倍愛季」と記して安東愛季とは深い関係を持っていたことが伺われる。その愛季は天正3年に織田信長から鷹の献上が求められ、献上の後天正5年に信長から太刀を贈られている。すなわち母体八幡神社の再建と関わる愛季が再建直後に鷹を通じて信長との関係を保ち戦国大名として成長していったという事実は、同社において鷹という画題をより特別なものと考えたのではないか、という視点か

- らの考察を今後の課題としたい。時代は安東から多賀谷氏の支配に推移したが、同社は安東氏が再建した神社という意識とともに鷹を関わりの深いものとして認識していったのではないだろうか。ちなみに、安東愛季の鷹献上は織田信長だけではなく、越後の長尾景虎や越中松倉の河田長親にも行っている。また天文22年には安東盛季家臣である黒沢藏人が鷹飼育の秘伝をまとめている。
 (16) 長谷川成一「鷹・鷹献上と奥羽大名小論」『本荘市史研究』第1号
 (17) 渡部景俊「秋田県内の農耕図」『秋田民俗』第24号 平成10年
 (18) 高橋正「金神様の信仰について」秋田県立博物館研究報告』第25号 平成12年57頁
 (19) 高橋正「五城目町高性寺の大根絵馬」『伝承と文化』第22号
 (20) 嶋田忠一前掲著(12) 39頁
 (21) 鹿角市『十和田の民俗 下』平成4年 23頁
 (22) 曲田慶吉『伝説の鹿角』鹿角市教育会 124～129頁 昭和6年
 (23) 鹿角市『鹿角市史』第4巻平成8年563頁
 (24) 鹿角市『鹿角市史』第3巻下平成5年463頁

番号	資料名	所蔵先	法量	紀年銘	西暦	奉納者	絵師	
1	神馬	鹿角市	葦名神社	77.0*169.0	明治5年壬申5月吉日	1872	風張村孫太	成田庄司
2	神馬	鹿角市	葦名神社	79.5*119.0	明治27年甲午4月17日	1894	十二所字別所佐藤庄兵衛	
3	神馬	鹿角市	葦名神社	98.0*164.0	嘉永6年4月17日	1853	上芦名沢村若者中	
4	神馬	鹿角市	葦名神社	120.0*197.0				
5	神馬	鹿角市	葦名神社	100.0*122.0	明治33年旧5月30日	1900	北秋田郡山瀬村字上岩瀬村古家春松	
6	鐘馗	鹿角市	葦名神社	100.0*68.0	安政5年戌午仲春3月3日	1858	松山村願主上助、勘之助	
7	武者	鹿角市	葦名神社	115.0*66.5	安政7年未6月	1860	猿間村畠山重兵衛、畠山辰之助、秋元作兵衛	平中富
8	神馬	鹿角市	葦名神社	110.0*191.0	嘉永2歳重月17日	1849	沢田善間	
9	繋ぎ馬	鹿角市	葦名神社	90.0*172.0			古川邑興作	
10	繋ぎ馬	鹿角市	葦名神社	77.0*137.0	明治19年5月17日	1886	瀬田石村齊藤喜助、齊藤喜之助	
11	神馬	鹿角市	葦名神社	64.5*140.0			秋田県沼館村佐々木彦太郎	
12	平譲不破丸図	鹿角市	高屋観世音	189.0*101.0	明治30年旧4月	1897	兎沢文助他2名	
13	那須与一	鹿角市	高屋観世音	102.0*162.0	文政7年	1824	村中	
14	鬼子母神	鹿角市	高屋観世音	92.0*129.0			高屋村村木卯之助他	
15	神功皇后と武内宿禰	鹿角市	高屋観世音	74.0*176.0	文政12年6月吉日	1829	高屋村一同	
16	蛇図	鹿角市	高屋観世音		昭和48年8月27日		1973 古瀬京子	
17	黒牛図	鹿角市	大日靈貴神社		昭和49年	1974	六十二歳寿会有志	呉老
18	親子牛図	鹿角市	大日靈貴神社		昭和12年	1879	牛年生宮麓会	杉本峯泉
19	狛犬シロ図	大館市	老犬神社		昭和丙午(41年)	1966	湯沢市京野兵右衛門	鷹太郎
20	狛犬シロ図	大館市	老犬神社					
21	二股大根(交差)	大館市	遍照院	45.0*85.0	昭和25年立冬	1954	赤井氏	
22	二股大根(交差)	大館市	遍照院	36.5*93.0	昭和8年9月初秋日	1933	近藤村右衛門	
23	二股大根(並列)	大館市	遍照院	51.5*60.0	昭和25年8月16日	1950	河田喜作	
24	二股大根(交差)	大館市	遍照院	26.0*36.0	昭和27年4月	1952	島内ヒサ	
25	風景画	大館市	遍照院	22.5*29.0	昭和18年7月30日	1943	長木村茂内屋敷畠山光太郎	
26	文字額	大館市	遍照院	29.5*42.0	5月16日		館氏	
27	剣	大館市	遍照院	103.0*63.0	大正7年7月22日	1918	大館町杉測正治	
28	二股大根(交差)	大館市	遍照院	31.0*37.0	大正2年旧5月16日	1913	高戸谷蛇川峯松	
29	剣(一文銭)	大館市	遍照院	54.0*31.0	明治12年己卯2月6日	1879	近藤永吉	
30	駆馬図	大館市	遍照院	38.0*61.0			岩谷満夫	
31	二股大根(交差)	大館市	遍照院	30.0*41.0	昭和21年6月16日	1946	青森県下北郡田名部町斎藤福松・ちさ	
32	大根(一文銭)	大館市	遍照院	54.0*93.0			北秋田郡扇田村長木三八母	
33	大根(並列)	大館市	遍照院	47.0*70.0			青柳材木店	
34	二股大根(並列)	大館市	遍照院	27.0*42.0			長沢ミワ	大清
35	二股大根(交差)	大館市	遍照院	34.0*44.0	昭和28年5月2日	1953	大葛村森合泉サキ	
36	二股大根(交差)	大館市	遍照院	29.0*38.5			真中村高戸谷蛇川峯松	
37	二股大根(並列)	大館市	遍照院	47.0*70.0			青柳材木店	
38	剣	大館市	遍照院	69.0*21.0			大正町願主成田長蔵	
39	二股大根(交差)	大館市	遍照院	30.0*39.0			扇田町千葉源七郎	
40	二股大根(交差)	大館市	遍照院	30.0*37.0			大館町小坂正三郎	
41	二股大根(交差)	大館市	遍照院	28.5*35.0			大葛村森合拾二番地泉金助	
42	二股大根(交差)	大館市	遍照院	38.0*61.0				
43	満濃池修復の図	大館市	遍照院	52.0*75.0				
44	二股大根(交差)	大館市	遍照院	35.0*55.0	明治33年3月16日	1900	大館町青柳順蔵	
45	礼拝図	比内町	大日神社	115.0*168.0	享保19年寅5月18日	1734	施主敬白	
46	武者図	比内町	大日神社	140.0*70.0	弘化4年未正月吉辰	1847	当村小松太郎助	江岸
47	文人図	比内町	大日神社	148.0*71.5	弘化3年季春良辰	1846	成田重兵衛他4名	

48	花見図	比内町	大日神社	45.0*94.0	大正5年11月18日	1916	東館村独鉗中田ヤス	
49	白馬図	比内町	大日神社	34.0*59.0	昭和6年11月7日	1931	独鉗村野呂卯一	
50	仙人図	能代市	八幡神社	42.0*103.0	文政5年午3月吉日	1822	岩崎庄藏	秀東
51	黒鷹	能代市	八幡神社	95.0*65.0	貞享3年正月吉日	1686	菅原及右衛門安周	
52	馬	能代市	稲荷神社	72.0*149.0				
53	大漁絵馬	能代市	稲荷神社	67.0*89.0	明治45年6月吉日	1912	赤塚豊治外網引連中	
54	大漁絵馬	能代市	稲荷神社	65.0*102.0	大正6年6月11日	1917	菊地菊松他	
55	礼拝図	能代市	稲荷神社	31.5*42.5	明治33年子5月2日	1900	佐藤重三郎	
56	向かい狐	能代市	稲荷神社	32.0*40.0	明治28年	1895	菊地菊松	
57	大漁絵馬	能代市	稲荷神社	71.0*95.0	明治45年5月10日	1912	赤塚伊右衛門升網引連中	
58	小鯛大漁記念	能代市	稲荷神社	60.0*91.0	大正5年6月吉日	1916	岸部三治郎他名	
59	大漁絵馬	能代市	稲荷神社	48.0*56.0	明治22年12月10日	1889	当村岸部多七	
60	向かい狐(押絵)	能代市	稲荷神社	40.0*50.0				
61	向かい狐	能代市	稲荷神社	28.0*40.0	大正10年7月14日	1921	菊地喜代松	
62	向かい狐	能代市	稲荷神社	26.0*40.0				
63	向かい狐	能代市	稲荷神社	30.0*38.0	明治22年	1889		
64	鶏図	能代市	稲荷神社	37.0*28.0				
65	向かい狐	能代市	稲荷神社	28.0*37.0				
66	向かい狐	能代市	稲荷神社	30.0*38.0				
67	大鯖大漁記念絵馬	能代市	稲荷神社	69.0*87.0	明治44年陰暦6月7日	1911	赤塚豊治他	
68	大鯖大漁記念絵馬	能代市	稲荷神社	68.0*116.0	明治44年陰暦6月7日	1911	赤塚豊治他	
69	一年会修葺記念写真絵馬	能代市	稲荷神社	61.0*85.0	昭和44年2月1日	1969	佐藤和二郎他	
70	礼拝図	能代市	稲荷神社	30.5*41.0	昭和4年10月11日	1929	菊谷ミサオ	
71	礼拝図	能代市	稲荷神社	29.5*41.0	昭和10年12月吉日	1935	大高イク68才	
72	大和丸ポスター奉納額	能代市	稲荷神社	66.0*99.0	昭和9年9月25日	1934	小樽市梅ヶ枝町44河田	
73	大漁絵馬	能代市	稲荷神社	70.0*99.0	明治44年9月5日	1911	佐藤松之助他7名	
74	礼拝図	能代市	稲荷神社	35.0*40.0	大正12年4月	1923	大高サキ	
75	礼拝図	能代市	稲荷神社	35.0*40.0			菊地茂	
76	大漁絵馬	能代市	稲荷神社	75.0*170.0	明治31年5月大吉日	1898	阿波野豊治他7名	
77	童子・小飛出面	能代市	稲荷神社	37.0*70.0	昭和57年12月吉日	1982	能代市向能代上野越120平川徳治謹打	
78	大漁祈願絵馬	能代市	稲荷神社	76.0*130.0	明治29年丙申5月10日	1896	赤塚豊吉外網引連中	
79	向かい狐に弁天	能代市	稲荷神社	26.5*34.0				
80	礼拝図	能代市	稲荷神社	30.5*44.0				
81	鳥居	能代市	稲荷神社	37.0*49.0	大正8年1月元旦	1919	大高長市	
82	向かい狐	能代市	稲荷神社	31.0*40.0			山本さだ	
83	境内図	能代市	稲荷神社	39.0*50.0				
84	向かい狐	能代市	稲荷神社	30.0*43.0				
85	狐乗弁天	能代市	稲荷神社					
86	鳥居	能代市	稲荷神社	44.0*59.0				
87	恵比須大黒	能代市	稲荷神社					
88	船絵馬(神貴丸)	能代市	恵比須神社	31.0*43.0	明治27年1月	1894	庄内財吉	
89	船絵馬(白山丸)	能代市	恵比須神社	45.0*62.5	明治20年戊(マ)5月5日	1887	□□政造	
90	船絵馬(中吉丸)	能代市	恵比須神社	48.0*62.0	明治32年1月20日	1899	東雲村向能代渡邊與一	
91	船絵馬(3艘)	能代市	恵比須神社	42.0*61.0	明治26年11月12日	1893	菊谷清吉	
92	船絵馬(加福丸)	能代市	恵比須神社	30.0*44.0	明治22年旧7月吉日	1889	当村菊谷友吉	
93	船絵馬(日吉丸)	能代市	恵比須神社	30.5*44.0	明治25年11月10日	1892	当村石谷由吉	
94	船絵馬	能代市	恵比須神社	31.0*43.0			向能代村八木専太郎	
95	船絵馬(中吉丸)	能代市	恵比須神社	31.5*49.0	明治21年5月25日	1888	庄内平吉	
96	船絵馬(中吉丸)	能代市	恵比須神社	32.0*49.0	明治21年5月25日	1888	秋田縣山本郡向能代村赤塚新吉	
97	遭難絵馬	能代市	恵比須神社	34.5*46.0	明治22年8月8日	1889	小川与七	
98	船絵馬(吉祥丸)	能代市	恵比須神社	48.5*63.0	明治21年子5月吉日	1888	向能代庄内岩吉	
99	船絵馬(仲吉丸)	能代市	恵比須神社	52.0*68.0	明治29年12月9日	1896	仲吉丸與一	
100	大漁絵馬	能代市	恵比須神社	65.0*102.0	大正6年6月11日	1917	菊地菊松他9名	
101	大漁絵馬	能代市	恵比須神社	77.5*153.0	大正5年6月13日	1916	熊谷吉五郎他名	琴村
102	船絵馬(神徳丸)	能代市	恵比須神社	32.0*44.5	明治28年正月吉日	1895	岸部萬治郎	
103	船絵馬(原悦丸)	能代市	恵比須神社	45.5*60.0	昭和61年丙寅6月吉日	1986	北海道江差船頭中	
104	船絵馬(龍神丸)	能代市	恵比須神社	33.0*44.5	明治26年10月吉日	1893	当町岸部多七	
105	船絵馬(仲吉丸)	能代市	恵比須神社	45.5*66.0	明治29年1月23日	1896	東雲村向能代渡邊與市	
106	大漁絵馬	能代市	恵比須神社	36.0*46.5	明治44年11月1日	1911	漁業主赤塚蔵之助他8名	
107	船絵馬(日吉丸)	能代市	恵比須神社	31.0*44.0	明治24年3月9日	1891	石谷由吉	
108	恵比須大黒	能代市	恵比須神社	26.0*33.0				
109	三匹馬	能代市	相染神社	28.0*110.0	慶応3年	1867	平野重五郎	
110	栗毛馬	能代市	相染神社				浅内村河戸川大塚信吉	
111	白馬	能代市	相染神社	30.0*45.0	昭和11年11月吉日	1936		
112	黒馬	能代市	相染神社	33.0*85.0	昭和5年5月5日	1930	悪土町田中万治郎	
113	黒馬	能代市	相染神社				相染森田中立太郎	
114	白馬	能代市	相染神社				大塚多三郎	
115	朱馬	能代市	相染神社		昭和5年旧5月5日	1930	栢子処村秋元小市郎	
116	朱馬	能代市	相染神社				河戸川佐藤善市	
117	親子馬	能代市	相染神社				浅内村河戸川村大塚與市	
118	朱馬	能代市	相染神社				河戸川田中千代吉	
119	黒馬	能代市	相染神社		昭和9年旧5月5日	1934	榑村田屋藤田亮二	
120	白馬	能代市	相染神社	30.0*37.0	大正8年旧7月19日	1919		
121	四匹馬	能代市	相染神社		昭和45年6月吉日	1970	森岳児玉兵治	
122	武者と神馬	山本町	七星神社					
123	日本武尊	山本町	熊野神社		大正13年4月15日	1924		

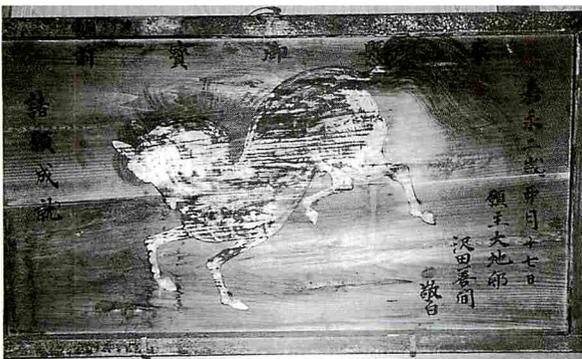
124	日本武尊	山本町	白山神社		大正10年4月21日	1921		
125	山中鹿之助拜月図	山本町	豊岡神明社					
126	大根(並列)	五城目町	高性寺	46.0*90.0				
127	大根(並列)	五城目町	高性寺	37.0*59.0				
128	大根(文字)	五城目町	高性寺	49.0*59.0				
129	大根(並列)	五城目町	高性寺	43.0*59.0				
130	大根(並列)	五城目町	高性寺	60.0*39.0	文久2年戊7月16日			
131	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	28.0*40.0				
132	大根(交差)	五城目町	高性寺	23.0*30.0				
133	大根(交差)	五城目町	高性寺	53.0*76.0				
134	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	19.0*40.0	明治6年酉2月			
135	大根担ぎ	五城目町	高性寺	48.0*92.0				
136	宝船	五城目町	高性寺	36.0*58.0				
137	宝船	五城目町	高性寺	52.0*59.0	明治6年酉2月			
138	針仕事	五城目町	高性寺	37.0*41.0				
139	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	33.0*44.0				
140	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	42.0*62.0				
141	大根(並列)	五城目町	高性寺	38.0*65.0				
142	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	40.0*52.0				
143	大根(交差)	五城目町	高性寺	33.0*45.0				
144	大根抜き	五城目町	高性寺	34.0*50.0				
145	大根(交差)	五城目町	高性寺	35.0*55.0				
146	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	46.0*79.0	明治27年7月吉日			
147	大根(交差)	五城目町	高性寺	36.0*67.0				
148	大根(交差)	五城目町	高性寺	44.0*50.0				
149	大根(交差)	五城目町	高性寺	42.0*67.0				
150	大根持ち	五城目町	高性寺	32.0*47.0				
151	大根(交差)	五城目町	高性寺	39.0*50.0				
152	大根担ぎ	五城目町	高性寺	32.0*41.0				
153	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	32.0*46.0	明治9年			
154	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	33.0*53.0	明治39年3月15日			
155	大根(交差)	五城目町	高性寺	28.0*32.0				
156	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	31.0*51.0	明治18年旧5月16日			
157	大根担ぎ	五城目町	高性寺	31.0*46.0				
158	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	28.0*56.0				
159	馬	五城目町	高性寺	32.0*39.0	明治30年正月16日			
160	大根(並列)	五城目町	高性寺	58.0*38.0	明治24年旧正月吉日			
161	大根(交差)	五城目町	高性寺	31.0*42.0				
162	大根(並列)	五城目町	高性寺	32.0*48.0				
163	大根(交差)	五城目町	高性寺	30.0*36.0				
164	大根(交差)	五城目町	高性寺	29.0*37.0				
165	二股大根(交差)	五城目町	高性寺	31.0*40.0				
166	大根(交差)	五城目町	高性寺	27.0*43.0				
167	大根(交差)	五城目町	高性寺	26.0*47.0	明治34年11月16日			
168	大根(交差)	五城目町	高性寺	33.0*43.0				
169	大根(並列)	五城目町	高性寺	34.0*62.0	癸卯春日(明治36年か)			
170	二股大根(並列)	五城目町	高性寺	40.0*36.0				
171	大根抜き	五城目町	高性寺	20.0*36.0				
172	大根(並列)	五城目町	高性寺	104.0*180.0				
173	大根(並列)	五城目町	高性寺	67.0*100.0	明治23年4月16日			
174	銭鳥居	秋田市	飯田神明社	40.0*39.0	昭和11年3月	1936	幸野ミエ	
175	豊受大神宮御正殿	秋田市	飯田神明社	48.0*59.0	大正9年旧11月1日	1920	神明講中保坂徳太郎他名	
176	神社の老松の様に	秋田市	飯田神明社	69.0*114.0	明治22年5月21日	1889	保坂兼吉他4名	真海
177	日本武尊	秋田市	飯田神明社	76.0*137.0	明治33年旧5月	1900	夜学復習会有志者名	
178	礼拝図	秋田市	飯田神明社	29.0*43.0	明治45年6月21日	1912	南秋田郡飯島村字飯田保坂武治	
179	社殿地内を駆ける馬	秋田市	飯田神明社	36.0*45.0	明治43年11月21日	1910	南秋田郡飯田村保坂善治	
180	馬の図	秋田市	飯田神明社	27.0*18.0				
181	社殿図(礼拝図)	秋田市	飯田神明社	43.0*63.0	明治39年旧5月吉日	1906	当村願主佐々木貞治	
182	馬の図	秋田市	飯田神明社	24.0*38.0	明治32年正月1日	1899	飯島村飯田佐々木三治	
183	武運長久夜籠所願記念額	秋田市	飯田神明社	32.0*54.0	昭和57年12月31日	1982	小松長蔵	
184	陸軍歩兵肖像額	秋田市	飯田神明社	84.0*59.0	明治42年5月20日	1909	在郷軍人保坂久治他名	
185	養蚕工程絵馬	秋田市	飯田神明社	96.0*209.0	明治初期か		保坂善太郎(口伝による)	
186	拝み絵馬	金浦町	金浦山神社	56.0*90.0				
187	鶴亀図	金浦町	金浦山神社	42.0*87.0	明治32年4月18日	1899	井上直吉	藤原一光室
188	白馬図	金浦町	金浦山神社	162.0*225.0	昭和8年5月5日	1933	三浦房吉他	雪証
189	文人図	金浦町	金浦山神社	86.0*150.0			井口清左衛門他3名	寿栄
190	寿老人	金浦町	金浦山神社	42.9*75.0				
191	繫白馬	金浦町	金浦山神社	115.0*154.0	明治22年丑7月吉祥日	1889	佐々木米五郎他1名	
192	拝み絵馬	金浦町	金浦山神社	59.0*90.0				
193	小樽市全図	金浦町	金浦山神社	46.0*95.0	昭和6年4月	1931	小樽金浦会名	
194	俳諧奉納額(絵入り)	金浦町	金浦山神社	52.0*91.0	明治30年5月	1897		海雪年□
195	黒馬図	金浦町	金浦山神社					四くら
196	黒馬図	金浦町	金浦山神社					玉芳
197	亀乗恵比須	金浦町	金浦山神社				金浦町嶋屋	
198	満州派遣記念	金浦町	金浦山神社	28.0*60.0			陸軍歩兵上等兵佐々木春治	
199	学童図	金浦町	金浦山神社	37.0*30.0	昭和3年5月18日	1928	尋常6年生佐藤辰治	

200	繫黒馬	金浦町	金浦山神社	35.0*44.0				塗師屋	
201	もみじ図	金浦町	金浦山神社	37.0*61.0	昭和3年5月15日		1928	喜代子	
202	蒲公英に蝶	金浦町	金浦山神社	37.0*44.0	昭和3年12月17日		1930	斎藤トラ	
203	ねずみ	金浦町	金浦山神社	38.0*64.0	大正9年7月		1920	金浦町渡辺傳兵衛	
204	大漁絵馬	金浦町	金浦山神社	61.0*86.0	明治42年旧3月26日		1909	金浦町幸栄丸7名	
205	飾り笠	金浦町	金浦山神社	46.0*50.0				京都佐藤美雪	
206	船絵馬(永久丸)	金浦町	金浦山神社		明治10年5月18日		1877	小柳金三郎内利吉	
207	船絵馬(金□丸)	金浦町	金浦山神社		明治9年7月6日		1876	工藤	
208	鶴亀図	金浦町	金浦山神社	42.0*87.0	明治32年4月18日		1899	井口直吉	藤原一光宝
209	高砂	象潟町	金刀比羅神社	35.0*48.0	文政3年		1820		
210	船絵馬(□□丸)	象潟町	金刀比羅神社	24.0*30.0					
211	船絵馬(海寶丸か)	象潟町	金刀比羅神社	32.0*41.5					
212	船絵馬(観音丸)	象潟町	金刀比羅神社	28.0*37.5	明治7年7月吉日		1874	兵藤与左衛門他	
213	船絵馬(常福丸)	象潟町	金刀比羅神社	28.0*38.0	慶応4年辰4月10日		1868		
214	まげ絵馬	象潟町	金刀比羅神社	15.5*22.5	明治21年12月19日		1888	関村須田チヨ	
215	まげ絵馬	象潟町	金刀比羅神社	15.0*42.5				弥三郎他7名(文慶丸)	
216	まげ絵馬	象潟町	金刀比羅神社	20.0*61.0	慶応4年辰4月19日		1868	羽州秋田領三村七五三二	
217	繫馬図	象潟町	古四王神社	162.0*225.0	昭和8年11月8日		1933	竹島吉松他	雪江
218	船絵馬(治宝丸)	象潟町	古四王神社	40.0*58.0	天保12年辛巳7月吉日良辰		1841	油屋治右エ門	
219	船絵馬(往吉丸)	象潟町	古四王神社	29.0*38.0	天保12丑8月		1841	羽州象潟冠石土門治兵衛	
220	船絵馬	象潟町	古四王神社	46.5*61.5	弘化2乙巳11月吉日		1845	佐藤甚七	
221	船絵馬	象潟町	古四王神社	28.5*38.0	嘉永2巳(マ)酉歳12月3日		1849	冠石武助	
222	船絵馬	象潟町	古四王神社	27.0*38.0	慶応2丙寅季7月日		1866	北国屋菊治	
223	船絵馬(安寧丸)	象潟町	古四王神社	44.0*58.0	慶応3丁卯9月吉日		1867	松前栖原安寧丸権吉	
224	船絵馬(寛応丸)	象潟町	古四王神社	23.0*30.5	明治6癸酉年6月日		1873	佐藤重一郎	
225	船絵馬(正徳丸)	象潟町	古四王神社	37.0*50.0	明治10丑6月吉日		1877		
226	船絵馬(春日丸)	象潟町	古四王神社	35.0*48.0	明治10丁丑7月吉日		1877	佐藤直蔵	
227	船絵馬(八光丸)	象潟町	古四王神社	27.0*38.0	明治10年7月日		1877	土門氏	
228	船絵馬(宝幸丸)	象潟町	古四王神社	47.3*65.5	明治11年寅7月日		1878	荒屋敷町嶋田正吉	
229	船絵馬(玉光丸)	象潟町	古四王神社	27.5*38.0	明治12年乙卯年6月吉辰日		1879	土門富之輔	
230	船絵馬(光善丸)	象潟町	古四王神社	34.5*47.5	明治13年7月		1880		
231	船絵馬(光善丸)	象潟町	古四王神社	38.0*46.0	明治13年辰8月		1880	森権九郎	
232	船絵馬(夜応丸)	象潟町	古四王神社	23.0*28.0	明治13年8月		1880	佐々木重治郎	
233	船絵馬(海徳丸)	象潟町	古四王神社	26.5*38.0	明治13年辰8月吉日		1880	池田与三治	
234	船絵馬(大善丸)	象潟町	古四王神社	35.0*48.0	明治15年8月10日		1882	塩越村佐々木氏	
235	船絵馬(伊法丸)	象潟町	古四王神社	35.5*40.0	明治15年午8月18日		1882	由利郡塩越村奥山勘三郎	
236	船絵馬(光善丸)	象潟町	古四王神社	42.0*54.5	明治15年午7月		1882	森権九郎	
237	船絵馬(福徳丸)	象潟町	古四王神社	35.2*48.0	明治15年午8月18日		1882	由利郡塩越村奥山勘三郎	
238	船絵馬(海宝丸)	象潟町	古四王神社	36.5*50.0	明治17年旧7月15日		1884	新町佐藤鉄蔵	
239	船絵馬	象潟町	古四王神社	31.5*42.0	明治23年7月16日		1890	佐々木久吉	
240	船絵馬(三宝丸)	象潟町	古四王神社	47.0*64.5	明治24年7月13日		1891	塩越新町佐々木寅治	
241	船絵馬(清徳丸)	象潟町	古四王神社	31.0*41.5	明治26年7月朔日		1893	新谷町佐々木千代太	
242	船絵馬(福神丸)	象潟町	古四王神社	40.5*53.0	明治27年旧6月14日		1894	由利郡塩越荒谷佐々木福次郎	
243	船絵馬(観音丸)	象潟町	古四王神社	26.5*38.0	明治戊7年7月吉日		1874	兵藤与左エ門5名	
244	船絵馬(光善丸)	象潟町	古四王神社	26.0*38.0				森権九郎	
245	船絵馬(永明丸)	象潟町	古四王神社	27.5*38.0					
246	船絵馬(海運丸)	象潟町	古四王神社	26.0*38.0	大正2年9月1日		1913	象潟町五丁目佐々木久治郎	
247	船絵馬(玉光丸)	象潟町	古四王神社		明治16年癸未六月吉辰		1883	土門富太郎	
248	船絵馬(宝幸丸)	象潟町	古四王神社	41.0*65.0	明治11寅7月		1878	荒屋敷町嶋田正吉	
249	武者図	象潟町	古四王神社	102.0*132.0	安政2乙卯八月吉日		1855	冠石町小左衛門	田中雪二
250	船絵馬(又吉丸)	象潟町	船着八幡神社	36.0*51.2	嘉永3庚年8月吉日		1850	羽州由利郡塩越村俵屋嘉右エ門	
251	船絵馬(福寿丸)	象潟町	船着八幡神社	24.5*38.0	明治8乙亥第8月吉日		1875	笹木末吉	
252	船絵馬(福寿丸)	象潟町	船着八幡神社	34.8*47.3	明治18年旧8月		1885	佐々木末吉	
253	船絵馬	象潟町	船着八幡神社	23.0*29.5					
254	繫馬	象潟町	船着八幡神社	28.0*38.5	明治41申歳		1908	佐々木傳三郎	
255	繫馬	象潟町	船着八幡神社	34.0*51.0	明治41年12月1日		1908	須田末吉	
256	繫馬	象潟町	船着八幡神社	61.0*69.0	大正7丙午年10月		1918	川尻?	
257	繫馬	象潟町	船着八幡神社	35.0*43.0	明治22年旧9月吉日		1889	当村須貝徳治郎	落款あり
258	神功皇后と武内宿禰	象潟町	船着八幡神社	75.0*161.0					雪山
259	武者絵馬	象潟町	戸隠神社	115.0*164.0	文久元辛酉年霜月吉日		1861		
260	馬	象潟町	戸隠神社		嘉永4辛亥7月日		1851	岩見屋六郎兵衛	
261	馬	象潟町	戸隠神社		寅7月吉日			大町須田氏	
262	繫馬	象潟町	戸隠神社						
263	まげ絵馬	象潟町	戸隠神社					秋田藩中尾形清二秋田家中土岐喜代治	
264	船絵馬(永久丸)	象潟町	戸隠神社	31.0*40.5	寛政庚申歳5月吉日		1800	江戸雑賀屋船頭植之助	
265	船絵馬(六根丸)	象潟町	戸隠神社	23.5*29.0	天保3壬辰年吉祥日		1832	当所須田圓治	
266	船絵馬(治宝丸)	象潟町	戸隠神社	40.0*57.5	天保12年辛丑年7月吉日良辰		1841	油屋治右エ門	
267	船絵馬(日吉丸)	象潟町	戸隠神社	35.0*50.0	安政3丙辰年2月吉祥日		1856	冠石佐藤吉左衛門	
268	船絵馬(亀吉丸)	象潟町	戸隠神社	26.5*36.0	安政巳歳7月日		1857	市郎左衛門	
269	船絵馬(永久丸)	象潟町	戸隠神社	48.5*62.5	庚亥マ歳7月日			石橋屋権三郎	
270	船絵馬(寛応丸)	象潟町	戸隠神社	23.5*29.5	明治6年癸酉6月日		1873	佐藤金□郎	
271	船絵馬(観音丸)	象潟町	戸隠神社	23.5*29.5	明治丙9子年		1876	兵藤与左衛門	
272	船絵馬(海宝丸)	象潟町	戸隠神社	31.0*42.0	明治18年8月吉日		1885	羽後国由利郡塩越村佐藤弥太郎	
273	船絵馬(照幸丸)	象潟町	戸隠神社	23.5*30.0	明治21年旧6月吉日		1888	島田政治郎	
274	船絵馬(宣徳丸)	象潟町	戸隠神社	29.5*33.5				須田弥八郎	
275	船絵馬(永明丸)	象潟町	戸隠神社	27.0*38.5					

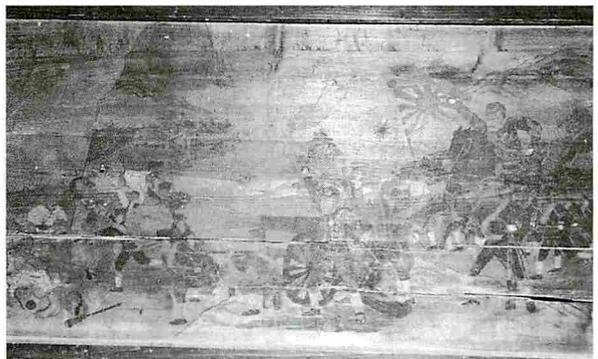
276	船絵馬(治宝丸)	象潟町	戸隠神社	29.5*38.0			油屋氏	
277	船絵馬	象潟町	戸隠神社	39.5*57.7				
278	船絵馬(陽福丸)	象潟町	戸隠神社	27.0*30.0	昭和3年8月吉日	1928	池田氏	
279	船絵馬(光善丸)	象潟町	郷土資料館		明治15歳午ノ7月	1882	森権九郎	
280	船絵馬(大漁丸)	象潟町	郷土資料館		明治8年亥8月	1875		
281	船絵馬(象潟丸)	象潟町	郷土資料館		明治25年壬辰旧10月吉日	1892	羽後国由利郡塩越湯佐々木春治	
282	船絵馬(神徳丸)	象潟町	郷土資料館		萬延元年8月吉日	1860		
283	船絵馬(清徳丸)	象潟町	郷土資料館		明治22年旧9月朔日	1889	新町佐々木勘蔵	
284	船絵馬(太神丸)	象潟町	郷土資料館				羽州由利塩越冠石横山長吉	
285	船絵馬(大福丸)	象潟町	郷土資料館		慶応元年丑6月吉日	1865		
286	船絵馬(長宝丸)	象潟町	郷土資料館					
287	船絵馬(正徳丸)	象潟町	郷土資料館		明治10丑6月日	1877		
288	船絵馬(陽福丸)	象潟町	郷土資料館		昭和3年8月1日	1928	池田氏	
289	牡丹の図	岩城町	神明社	120.0*65.0	文久2年戊5月吉日	1862		旭雲生
290	蒙古襲来の図	岩城町	神明社	47.0*64.0	明治10年	1877	三浦由蔵	
291	黒馬図	岩城町	神明社	37.0*48.5	昭和17年旧6月17日	1942	工藤寅造	
292	桜下馬図	岩城町	神明社	123.0*64.0	文久2年戊5月吉日	1862		旭雲生
293	霜月落清地	岩城町	神明社	105.0*57.0	嘉永元甲戌年12月17日	1848	内道川村堀井市蔵	
294	天の岩戸(押絵)	岩城町	神明社	103.0*63.0	平成3年8月	1991	熊倉春廣	
295	組手の図	岩城町	熊野神社	78.0*105.0	文政10年	1827	大平重兵衛	大平亀陰
296	九諸侯俳諧献額	岩城町	熊野神社	80.0*240.0	文政10年	1827	岩城隆喜	大平亀陰
297	湖水渡りの図	岩城町	熊野神社	80.0*130.0	明治25年5月	1892	亀田町今町佐々木市三郎	佐々木市三郎
298	画題不明	岩城町	熊野神社		明治35年旧6月吉日	1902	秋田県雄勝郡西成瀬村川口佐々木松乃	
299	船絵馬(真徳丸)	岩城町	熊野神社					
300	俳諧献額	岩城町	熊野神社		辛丑晩夏(天保12年?)	1841		
301	俳諧献額	岩城町	熊野神社		安政3年丙辰6月	1856		
302	松に鷹図	大内町	八幡神社	93.0*125.0	元禄9年8月吉日	1696		
303	松に鷹図	大内町	八幡神社	70.0*94.0	明治9丙子年1月吉日	1876	伊藤権左衛門	伊藤権左衛門
304	船絵馬(榮昌丸)	大内町	八幡神社	50.0*78.0	慶応3年	1922	亀田村新沢浜魚夫佐藤勘吉郎	
305	繫馬図	大内町	八幡神社					
306	農耕図	大内町	神明社					
307	授乳図	大内町	三宝荒神社					
308	亀奉納額	東由利町	蔵神明社	130.0*210.0	大正13年5月吉日	1924	下郷村石錦清一郎	渡邊里治
309	黒馬図	東由利町	御獄神社	40.0*60.0			大琴村梅津寛四郎	
310	黒馬図	東由利町	御獄神社	40.0*60.0			大庭萬九郎	
311	黒馬図	東由利町	御獄神社	20.0*38.0	昭和14年12月17日	1939	鈴木寅蔵	
312	馬図	東由利町	御獄神社	70.0*50.0	昭和50年12月吉日	1975	佐々木マツノ他名	小野直一郎
313	牛図	東由利町	御獄神社	31.0*40.0			佐々木定志	
314	二匹馬	東由利町	御獄神社		明治27年旧正月17日	1894	下郷村大琴佐々木長吉	
315	押絵馬	東由利町	御獄神社	86.0-130.0	明治22年4月17日	1889	秋田県由利郡下郷村宿字大琴佐々木銀	
316	馬図	東由利町	御獄神社	47.0*38.0				
317	黒馬図	東由利町	御獄神社	38.0*50.0			大琴村梅津寛四郎	
318	馬図	東由利町	御獄神社	40.0*31.0			佐々木重二郎	
319	馬図	東由利町	御獄神社	38.0*50.0	明治39年旧7月17日	1906	宿村佐々木千代松七歳	
320	馬図	東由利町	御獄神社	38.0*45.0	昭和54年吉日	1979	東由利町大琴畑山ユフミ	
321	馬図	東由利町	御獄神社	43.0*54.0	明治45年4月17日	1912	下郷村大琴佐々木新五郎	
322	三匹馬	東由利町	御獄神社	35.0*46.0	大正6年3月17日	1917	当村佐々木平造	
323	三匹獅子	中仙町	長野公民館	12.7*17.6	昭和28年旧4月8日	1953	米田ツル	
324	餅と角樽	中仙町	長野公民館	8.6*16.8	昭和18年4月8日	1943	角館町山根町□□キヨ	
325	餅とカマ	中仙町	長野公民館	15.0*14.0	昭和31年4月8日	1956	藤原金治	
326	向かい狐	中仙町	長野公民館	11.8*14.8	昭和15年旧4月8日	1940	田口福治	
327	餅と角樽	中仙町	長野公民館	15.2*11.4	昭和28年4月8日	1953	中荒井加藤辰雄	
328	餅と角樽	中仙町	長野公民館	12.7*15.0				
329	うなぎ	中仙町	長野公民館	10.5*13.5	昭和19年旧4月8日	1944	佐々木俊与治	
330	うなぎ	中仙町	長野公民館	16.2*6.0	昭和23年旧4月8日	1948	SATORU YAMAGATA	
331	カニ	中仙町	長野公民館	12.3*14.5				
332	腰下(男)	中仙町	長野公民館	15.6*8.0	昭和28年4月8日	1953		
333	天狗	中仙町	長野公民館	11.7*16.8	昭和16年旧4月8日	1941	熊谷義郎	
334	龍	中仙町	長野公民館	21.0*9.0				
335	腰下(女)	中仙町	長野公民館	17.5*7.7				
336	わらじ	中仙町	長野公民館	11.7*14.0			雲雀亮逸	
337	龍	中仙町	長野公民館	16.8*10.0	昭和29年旧4月8日	1954		
338	腰下(女)	中仙町	長野公民館	10.5*10.0*1.0	昭和28年4月8日	1953		
339	うさぎ	中仙町	長野公民館	9.0*13.6	昭和50年乙卯歳	1975		
340	巳	中仙町	長野公民館	9.5*13.5	昭和28年9月20日	1953	岸午之助	
341	龍	中仙町	長野公民館	18.8*10.0	昭和29年9月20日	1954		
342	龍	中仙町	長野公民館	23.0*7.8				
343	龍	中仙町	長野公民館	21.1*8.8				
344	天狗	中仙町	長野公民館	13.1*16.5	昭和4年旧4月8日	1929	佐々木市松	
345	牛	中仙町	長野公民館	18.2*21.4				
346	はず	中仙町	長野公民館	19.8*9.0				
347	寅	中仙町	長野公民館	12.0*13.5				
348	おこぜ	中仙町	長野公民館	14.0*14.6	昭和28年旧4月8日	1953	山形吉雄	
349	太鼓	中仙町	長野公民館	11.2*14.5	大正9年4月8日	1920		
350	眼	中仙町	長野公民館	13.3*7.0				
351	猿に鶏	中仙町	長野公民館	12.3*18.5*1.3	昭和22年亥年	1947	山手ヤエ	

352	天狗	中仙町	長野公民館	14.4*11.4	大正13年旧4月8日	1924		
353	向かい狐	中仙町	長野公民館	10.7*16.3				
354	三匹馬	中仙町	長野公民館	15.8*22.5	昭和17年4月8日	1942	白岩村高橋保太郎	
355	胡瓜	西木村	八坂神社		明治17年甲申6月15日	1884		梁田禮一郎
356	籠	西木村	八坂神社					
357	神馬	西木村	八坂神社		明和元年甲申7月5日	1764	石川氏重昌	
358	日の丸	西木村	八坂神社					
359	胡瓜	西木村	八坂神社					禮和
360	胡瓜	西木村	八坂神社		皐月穀且			
361	神馬	西木村	大国主神社		明和元年甲申7月5日	1764	石川氏	
362	農耕	協和町	中村神社	90.0*180.0	大正7年旧7月17日	1918	白岩青年会	石川北谷
363	水害の図	横手市	妙晴寺	33.0*39.5	明治34年1月	1901		
364	拝み絵馬(ザクロ)	横手市	妙晴寺	26.0*44.0				
356	拝み絵馬	横手市	山神社	32.0*56.0			矢尾	
357	餅	横手市	黒川神明社	65.0*95.0	昭和6年10月	1931		
358	にわとり	横手市	黒川神明社	45.0*75.0	明治33年	1900		月樵
359	巴御前	横手市	黒川神明社	63.5*102.0	明治15年	1882		玉峰
360	文字額	横手市	黒川神明社	40.0*45.5				
361	天の岩戸	横手市	黒川神明社	79.0*102.5	明治34年旧8月21日	1901	黒川村字悪戸村	
362	画題不明	横手市	黒川神明社	92.0*75.0	明治11年8月9日	1878	二本柳村佐々木文吉	
363	画題不明	横手市	黒川神明社	48.5*63.0	明治29年旧8月9日	1896	佐藤庄蔵	
364	にわとり	横手市	黒川神明社	24.0*30.0			寺沢市五郎	
365	馬	横手市	黒川神明社	34.0*44.0				
366	馬	横手市	黒川神明社	45.0*120.0	明治36年旧8月21日	1903	当村佐藤三郎	
367	籠	横手市	黒川神明社	38.0*46.5	明治34年	1901	秋田県平(鹿)郡黒川村今田富之助	
368	天狗(押絵)	横手市	黒川神明社	43.0*82.0	明治19年旧8月21日	1886	平鹿郡黒川村森谷慶蔵	
369	恵比寿大黒	横手市	黒川神明社	24.5*39.0	大正12年旧12月16日	1923	余目村根田八十松、八十二	
370	武者絵馬	増田町	月山神社	64.0*89.0	享保20歳卯8月15日	1735	石田文左衛門	知於
371	兜図	増田町	月山神社	72.0*58.0	紀元二千六百年		増田尚志	四郎兵衛
372	曳馬図	増田町	月山神社	59.0*90.0	安永3甲午正月吉日	1774	三河刀口大坂鈴木半兵衛	知宣
373	菖蒲図	増田町	月山神社	56.0*99.0	昭和45年5月吉日	1970	上町消防団	達二
374	昇竜図	増田町	月山神社	16.0*170.0	昭和55年8月吉日	1980	上町消防団	藤原英正
375	武者絵馬	増田町	月山神社	66.0*88.0	元文3戊午歳8月15日	1738	石田忠蔵	亮直
376	兎図	増田町	月山神社	81.0*140.0	大正6丁巳初春	1917	瀬田川末吉	榎溪六十六翁
377	天狗	増田町	月山神社	50.0*80.0(概)			奉納久保田	
378	耕作成就祈願絵馬	増田町	教育委員会	65.0*139.0*3.0	宝暦2年	1752		
379	胡瓜・稲・ノバッタ	湯沢市	東鳥海神社	30.5*47.0			平鹿郡八沢木上溝中野敦治	
380	黒馬図	湯沢市	東鳥海神社	49.5*76.5	明治21戊子旧9月末9日	1888	福井県丹生郡下糸生村牛若仁蔵	田村正和
381	恵比須大黒	湯沢市	東鳥海神社	58.0*131.0	大正8年陰暦6月	1919	佐々木勘次郎	華邦
382	武人図	湯沢市	東鳥海神社	87.0*120.0	明治11歳寅6月15日	1878	平鹿郡上吉田村字四ツ屋	
383	孝徳図	湯沢市	東鳥海神社	55.0*85.0	昭和3年6月15日	1928	仙北郡神代村卒田草なご字三郎他	駒峯
384	農耕図	湯沢市	東鳥海神社	145.0*298.0	明治初期か			
385	武者図	湯沢市	東鳥海神社	102.0*161.0	明治5年か	1872	平鹿郡砂子田上村講中	種口
386	仙人図	湯沢市	東鳥海神社	56.5*36.0	明治14年巳9月19日	1881	平鹿郡十文字町新田邑四番地藤倉東馬蔵	
387	鳥居	湯沢市	東鳥海神社	64.5*51.0	昭和10年7月1日	1935	秋田県由利郡南内越村長者屋敷加藤平右衛門他1名	

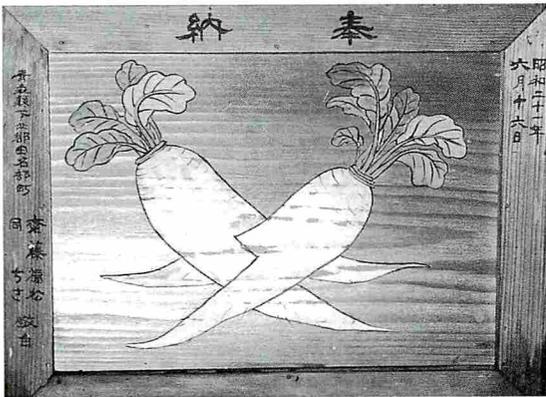
1) 神馬(鹿角市芦名神社) No. 8



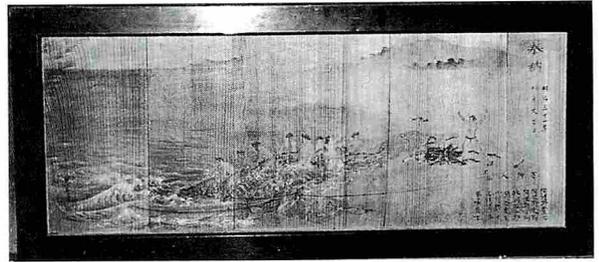
2) 平壤ヲ破ル図(鹿角市高屋観音堂) No. 12



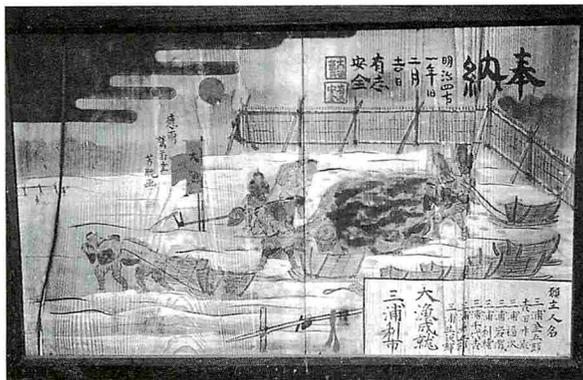
3) 二股大根 (大館市遍照院) No. 31



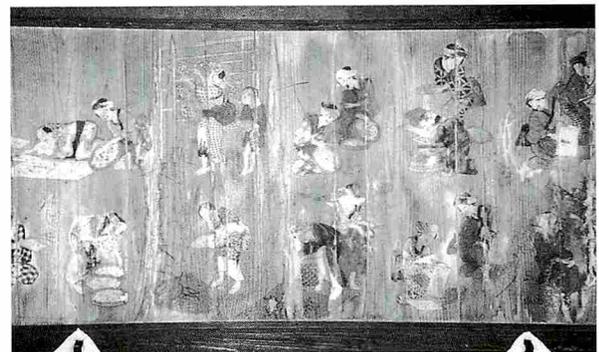
4) 大漁絵馬 (能代市稲荷神社) No. 76



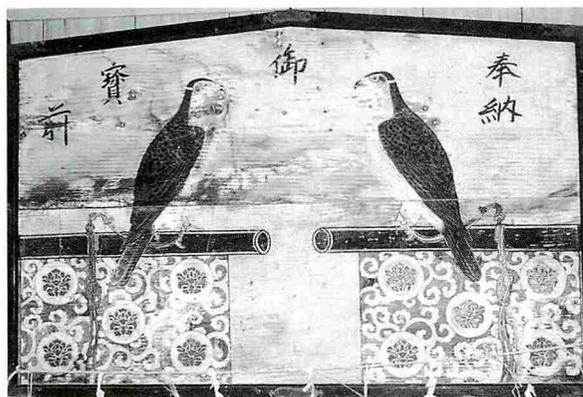
5) 氷下曳き網漁の図 (天王町大崎諏訪神社)



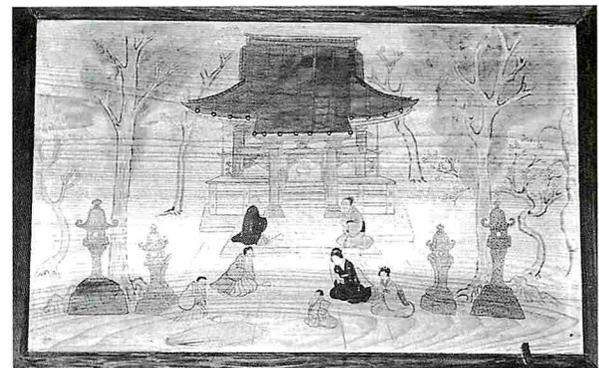
6) 養蚕絵馬 (秋田市飯田神明社) No. 185



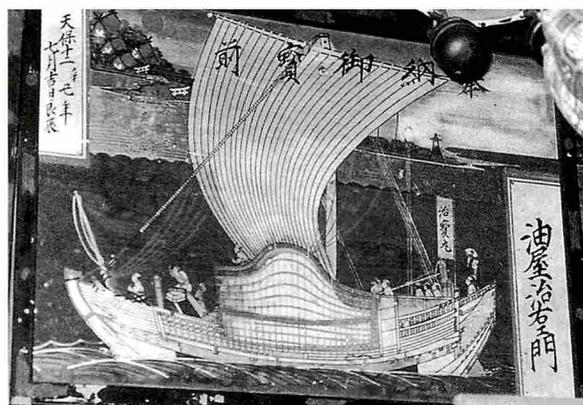
7) 献上鷹図 (本荘市松ヶ崎八幡神社)



8) 拝み絵馬 (金浦町金浦山神社) No. 192



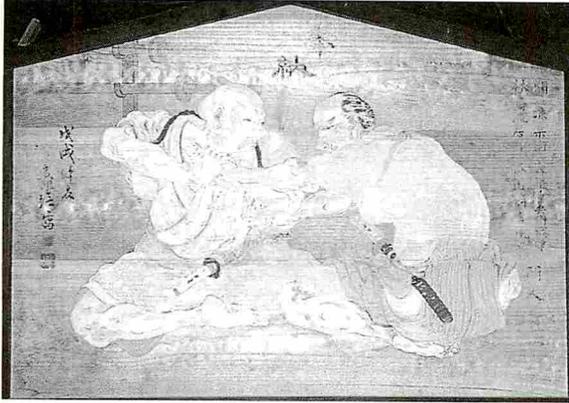
9) 船絵馬 (象潟町古四王神社) No. 218



10) 繋ぎ馬 (象潟町船着八幡神社) No. 254



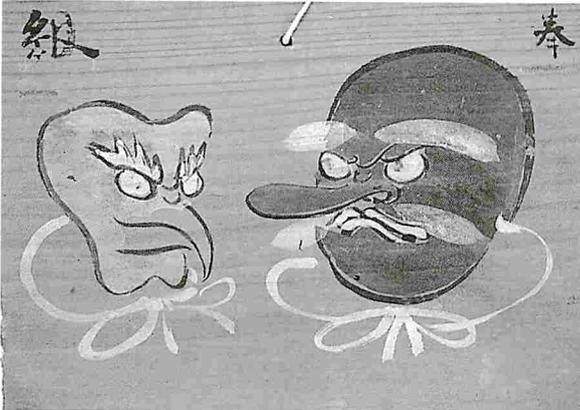
11) 組手の図 (岩城町熊野神社) No. 295



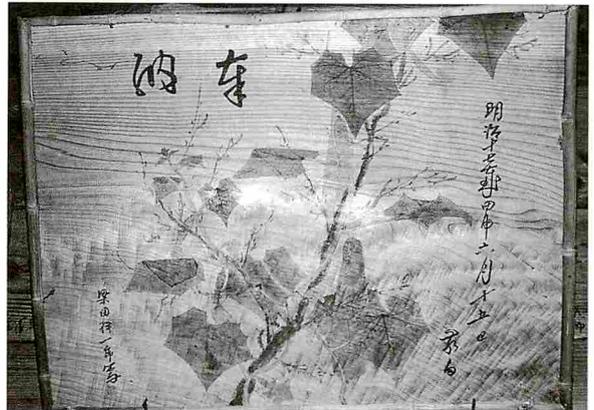
12) 農耕図 (大内町小栗山神明社) No. 306



13) 天狗 (中仙町長野公民館) No. 344



14) 胡瓜 (西木村八坂神社) No. 355



15) 水害図 (横手市妙晴寺) No. 363



16) 巴御前 (横手市黒川神明社) No. 359



17) 曳馬図 (増田町月山神社) No. 372



18) 農耕図 (部分) (湯沢市東鳥海神社) No. 384

